

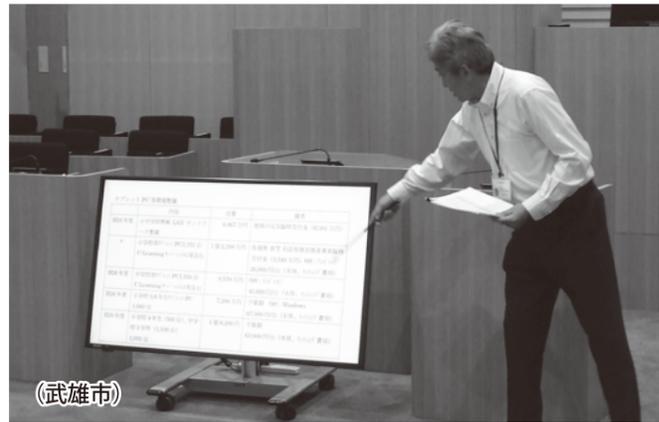
管外研修

まなび・生かす

総務教育 常任委員会

研修日
○令和元年10月29日
～30日

研修内容
○佐賀県 武雄市
市立図書館 ICT教育の取組み
図書館施設・運営を現地視察し、先進地事例を研修。
ICT教育の導入と実践状況を実践研修。
○図書館 設立の経緯



(武雄市)

と状況は。
A 運営は指定管理。開館日数、時間、イベントや住民向け講座開催など、住民サービスを拡大し、利用者が増えた。市長リードで議会、職員共に進めた。

Q ICT活用教育の方針と目指す方向は。
A 情報化社会への対応力育成、子どもたちの可能性を伸ばすツールとして有効である。予習での活用にも力を入れている。

Q ICT活用教育の方針と目指す方向は。
A 情報化社会への対応力育成、子どもたちの可能性を伸ばすツールとして有効である。予習での活用にも力を入れている。

○佐賀県鳥栖市
協働のまちづくり
「まちづくり推進協議会」設立の経緯や取り組みの状況・課題を研修。
Q 協働のまちづくりが進んでいるが、目指すところは。
A 住みたくなる鳥栖スタイルを作る。市の支援策を充実し、地域自治組織を構築する。

広報 常任委員会

研修日
○令和元年11月11日
～12日

研修内容
○福岡県宇美町
読みやすい議会広報
広報誌全国コンクールで入賞し、高い水準を維持している2町の議会広報の編集・制作など、先進事例を研修。
Q 編集方針、制作状況は。
A 議会に対する理解と関心を深めてもらうことを目指し、編集している。オールカラーで、表紙は組み写真にして多くの



(宇美町)

子どもを登場させている。
○福岡県須恵町
Q 優れた表紙で大きな評価を得ているが、工夫は。
A 表紙は「未来を担う子どもたち」をシリーズにして、子どもの表情をクローズアップしている。町内団体を取材して、声を届けている。

研修日
○令和元年11月7日
～8日

研修内容
○愛知県半田市及び三重県いなべ市
事業評価・施策評価の取組み
行政の監視機能を高めるため、効果的で適正な評価をするための研修。
Q 半田市、いなべ市議会には予算・決算委員会での審議、施策評価について共通する点が多い。工夫と現状は。
A 全員参加で、各常任委員会で分担して評価している。専門性を生かして審議、評価をして最後に全議員参加で確認している。必要な調査・研究を行い、きめ細かく取り組んでいる。

民生環境 常任委員会

研修日
○令和元年11月20日
～21日

研修内容
○石川県加賀市
子育て支援の取組み
子育て支援拠点を開設した経緯、方針、内容、課題を研修。
Q 子育て支援の体制はどのようになっているか。
A 子育て支援課、健康課、教育委員会がよく連携している。母子保健と子育てを一体としてワンストップで相談し、継続して支援をしている。



現地で研修(羽咋市)

○石川県羽咋市
農福連携の取組み
障がい者の自立支援就農支援にかかわる農福連携の取り組みの内容、事業、課題を研修。
Q 農福連携事業のサポート体制は。
A 就労支援A型事業で、NPO法人が自然栽培合同会社やJAと協力し、自然栽培の産地化、雇用の創出を行っている。市の支援でなく、民間の力で地域の課題解決を目指している。

アンケート結果

●せいか祭りでの議会アンケート □性別 男性 62人 女性 151人

さらに開かれた議会を目指していますが、住民の方は、これらの事業展開をどのように感じておられますか。

- ◆議会報告会に子育て中の母親が参加できるよう託児等で配慮されていることは素晴らしいと思う。
- ◆開かれた議会をより一般化するため、今後も積極的に進めてほしい。
- ◆議員の仕事がたいへん多くて、日々活動されていますが、町民にはあまり知られていないのではと思います。
- ◆広報に資料は添えられているが、ピンとこない。
- ◆大変良い、特に事業評価。
- ◆広報活動に力を入れていただいているのが良くわかります。
- ◆事業内容を住民に理解してもらってほしいです。
- ◆ネット中継を知らなかった。より広く周知するほうがいい。

精華町議会や議員活動に対して、思っていることを自由にお書きください。また、町外の方は、住んでいる議会では、どのような活発な活動をされているかなど、特徴的なものもあればお書きください。

- ◆このようなイベントをひらいているのがすごい！！町の人々とのふれあいが素晴らしい。
- ◆3万7千人の人口で議員が18人では少ないのではないか。住民の意見を十分聞くことができない。
- ◆町行政の、意見役(監視・見直し等)としての議会であってほしい。
- ◆議員活動のことは議会だよりでしかわかりません。もっと生の声を聴かせていただければと思います。
- ◆行政に対するチェック機能をもっと住民に分かり易くアピールしてほしい。行政を支えるだけの機能であれば無用。
- ◆選挙時の公約をどのように達成するのか、活動内容を公にしてほしい。
- ◆議員の活動があまり見えない。
- ◆テーマを生活に身近なものにして、若者に町の将来にかかわってもらえるような魅力的なPRを模索してほしい。
- ◆町会議員がしばしば訪問・声掛けされ安心できる。
- ◆議員と身近にふれあえる場がほしい。
- ◆町民のために日ごろは活動して頂き、誠にありがとうございます。20年後、30年後の精華町のことを考えて(今ももちろん大事だと思っています)

令和元年度第10回 ぎかいまちカフェ

日時：令和元年10月26日（土）午後7時～午後9時 ● 場所：精華町役場6階 審議会議室 ● 対象：一般住民

開かれた議会を目指して

参加された皆様からは、話し合う良い機会になったと喜んで頂きました。

すべてのご意見は町長に届けます。今後も住民の代弁者として参加者のニーズに応えられるよう努力します。紙面の都合上、一部の紹介になります。

意見交換（ワールド・カフェ方式）

テーマ「あんなこと、こんなこと、住みたくなる精華町」

地域コミュニティの構築のために

- 地域コミュニティ内の関係を密にできる施策を。
- 光台コミュニティセンターの誰もが利用できる時間設定を。（空き時間がない）
- 自治会の在り方の見直しを。
- 町民やボランティア、コーディネーターが地域課題を共有・協議できる場の設置を。
- 地域防災の観点から自治会での定期的会合の開催を。
- 町民には優秀な人材が多いと思うので、まちおこしのために協力してもらおう施策を。



- まちづくりができるデザイナー、町民のコーディネーターが必要である。
- 若者・老人と一緒に参加できるイベントが欲しい。
- 精華町の歴史を育むための資料館などの設置を。

高齢者のために

- 関西文化学術研究都市として、食育、憩いの場所、生涯教育、歴史、文化を発信できる施設をつくり、交流人口を増やす。
- 移動図書館の利用者が地域によっては少ないところがある。実態を調べ効果的に運用を。
- 高齢者支援に、歩いて買い物に行く途中、一息用に椅子の設置を。
- 薬漬け医療の改善や在宅医療の推進を。
- 国民健康保険税の負担の軽減を。
- 高齢者の医療費無料化を。
- 高齢者の免許返納品は、誰でも使えるよう



子ども達のために

- 子どもの自主性を育て、しつけ教育を。
- 安心して子育て教育できる公的場所の設置を。（空き家活用など）
- 大人を含めて児童も挨拶ができるような教育を。
- 共同で子育て・放課後学習の場づくりと父母によるシェアを。

駐車場整備を

- 昼間が閑散としていて祝園駅前効率的な運用を。
- 放置自転車の解消等のため、祝園駅駐輪場の有料化の実施を。
- けいはんな記念公園の駐車場の確保を。

精華町発展のために

- 誰もが乗降しやすいバスの導入を。
- くるりんバスの運賃の補助とルートの見直しの検討を。
- デマンドタクシーの活用検討を。
- 下粕駅の早期整備を。
- 東畑馬原地区の整備を。
- 粕田地区にスーパーが欲しい。業務用スーパーの検討を。

学研都市発展のために

- 近鉄学研奈良登美ヶ丘駅から新祝園駅への新路線の推進を決議したが、開発完了後の新路線ルート及び交通システムの研究を。
- 光台地区山手幹線南進・精華大通りの生駒側の早期開通を。
- 光台地区計画一般住宅ゾーン（東

農業のために

- 農家の生産性を高めるために、農機具の共同購入の推進を。
- 後継者ができるような農業施策を。
- 農業2022年問題、宅地並み課税による農地の放棄対策を。
- 道に野菜などの100円販売スタンドの設置を。
- 家庭菜園の余剰品の利用&安く新鮮な野菜が手に入る町に。
- いちご狩りの

その他の視点

- 行政・議会と町民との距離が遠い。（議会と住民との壁）
- 選挙投票率アップの施策を。
- 選挙に無関心すぎる。
- 町に対して要望しても、その件に関しての経過報告がない。

時、ジャムづくりや、いちご大福づくりの体験ができる体制を。

● 精華町のブランド品をさらにつくる。

議会アンケート

- 性別 男性=9人 女性=2人
- 年齢 40代=1人 60代=4人 70代=5人 80代=1人
- 本日のまちカフェ参加のきっかけは（重複あり）
 - 開催の時期/良い 11人 評価/良い 10人
 - 開催の時間帯（昼間がよい） /良い 10人・悪い 1人
 - 内容は（回数、時間をふやしてほしい） /良い 9人・悪い 1人
 - 資料は（意見・普通、委員会の名簿） /良い 7人・悪い 1人
- まちカフェ参加のきっかけは（重複あり）
 - 回覧 5人
 - 議会だより 4人
 - 議員・知人からの紹介 3人
 - 掲示板等 1人

意見交換で「お気づきになった点」、または「発言できなかった事項」がございましたら記入してください。

- ◆「議会まちカフェ」の開催日数を今少し増やすとよいのでは……………（男性 80代）
- ◆若い層への参加を促進するために、休日開催はもとより呼びかける努力が必要では…（男性 70代）
- ◆地域を区割りして担当議員さんを決めていただき懇談会を開催すべき……………（男性 60代）



その後を追う

どこまで進んだの!?



来年度、保育が必要な子に入所は保障されるのか

その時の答 的確な利用調整をして、待機児ゼロ堅持に努める。

その後現在は …… 年度当初の4月の一斉入所時においては待機児ゼロを堅持し、入所決定を行っている。今後においても保育利用の優先度判定基準に基づき、的確な利用調整や入所決定を行い、待機児ゼロの堅持に努める。
(子育て支援課)

自主防災組織の機能強化のため、一層の支援を

その時の答 地域の特性に応じた訓練の項目や内容を協議する。

その後現在は …… 各自主防災組織が作成された年間事業計画に基づき訓練を行っている。ただく際には防災訓練の項目や内容について、近年発生している災害などを教訓にし、地域の特性に応じて、自主防災組織の会長を初めとした役員の方と訓練の内容について協議を行う。多くの地域住民の方が参加できるよう実施日などを工夫し、自主防災組織の機能が更に強化されるよう支援を行っている。



起震車体験

(消防本部警防課)

粕田駅東まちづくりはどう進めるのか

その時の答 今年度中に道路用地を取得し、前進させる。

その後現在は …… アクセス道路となる僧坊・前川線について、用地取得が完了したことから、今年度、鉄道間の残っている道路整備を行う。また、令和2年度には近鉄とJRの踏切移設や府道部分の交差点改良工事を実施する予定となっており、粕田駅東地域と府道の間を安全に通行することができるようになる。
(都市整備課)

9月会議で新議長が選ばれ、10月の補欠選挙で新議員が誕生しました。

三原議長から読者の皆さんへ



精華町議会基本条例（議会の基本的理念、責務等を定義）に基づく、「開かれた議会」の実現に引き続き、邁進してまいります。

その手法としては、「町民参加・町民との協働」・「情報公開・説明責任」・「議会権能の発揮」・「政策提言・提案」を柱に、議会改革による活性化を推進するため、チーム議会として取り組んでまいります。

新議員からのご挨拶

坪井久行 議員

所属 日本共産党
委員会 総務教育委員・予算決算委員
広報委員



2年ぶり復帰しました。選挙の中で住民のみなさんの切実な願いを聞かせていただき、住民が主人公の政治への決意を新たにしています。新鮮な目で政治に挑戦します。

村田周子 議員

所属 爽風会
委員会 総務教育委員・建設産業委員
議会運営委員



「笑顔いっぱいの精華町」をテーマとして「誰もが豊かに暮らせる精華町」を目指します。あなたの心を議会に届けます。

元年11月全国町村議会議長会で表彰を受けました

「創立70周年記念表彰、改革先進議会の分野」で、議員報酬を多面的な切り口から検証した提言書をまとめたほか、決算審査の一環として、事務事業に対する点数評価と改善意見を長に提出する等の行政監視策が評価されました。



みんなの力で楽しく地域を守っています



生い立ち：阪神大震災を契機に

1995年、阪神大震災で多くの家屋が倒壊し、火災に遭い、尊い人命が失われるという大惨事を経験する中で、私たちの地域でも、自らの力で命や暮らしを守るために、自主防災活動を始めようと、滝ノ鼻防災会が誕生しました。

当時、精華町では防災会は新興地域が中心で、既存地域では、滝ノ鼻防災会が最初に産声を上げたのです。

防災会の基本的な任務は

①大震災発生時には、同時多発的に火災が発生するため、消防自動車が各地域に出動することは不可能であり、地域の住民みんなの力で初期消火活動することが求められます。阪神大震災では、自治活動が活発な地域で、自発的にバケツリレーで火災を消し止めたとの経験から学んだ

ものです。

②火災や家屋倒壊から、弱者をはじめ住民を救出し、避難所に誘導することが求められます。これも急を要するので、役場職員ではなく、住民自身の瞬発的な避難誘導が大切です。

③避難所に到着した住民にとって、当面の生活のためには、食料や飲料水の確保が必要であり、これも外部からの提供とともに、自らの力による配分や簡単な自炊活動が求められます。

これら3つの任務を担う自主組織が、防災会です。滝ノ鼻防災会では、これらの3つの任務を達成するために、自治会役員で、評議員は消火班、班長は救護班、体育委員は給食給水——と、役割分担して、リーダー育成しています。

ユニークで楽しい防災活動

歴史的には、こうした活動をフルに行うために消防署から防災倉庫が提供され、防災器具は環境整備作業の時なども役立っています。いざという時に備えて、消火栓や防火水槽の位置などを地図で示して、住民の自覚を高めています。

また、自主防災会助成金を活用して、防火バケツを全住民に配布して、各家庭で常備して、火災に備えています。防火バケツは、日頃は、車の清掃や庭の水撒きにも活用でき、便利です。医薬品や防災ヘルメッ



ト、消火器など、防災備品も購入してきました。

さらに、倉庫内の防災機器の点検、消防署との連携で、防災研修や防災訓練、救急救護訓練なども行ってきました。

ユニークなのは、給食給水訓練の場として、地域のとんど祭にとりくみ、竹藪の竹を切り、とんどさんを組み立て、書初めやしめ縄を燃やすとともに、役員が調理した豚汁を子どもたちや住民に振る舞っています。楽しい防災活動です。



参加者の声

効果満点の防火バケツ

数年前、河川敷で小火(ぼや)があった時、発見した人たちが声をかけあって防火バケツを持ち寄り、バケツリレーで消し止めました。普段、バケツに水を入れて置くだけでいざという時には役立つものですね。

学べました防災研修

私が役員をしている時には、ふれあい号で、野崎断層の見学、福知山や奈良県吉野の防災センターなどでの研修に行き、しっかり学びました。食事会もにぎやかで楽しかったですよ。

地域のふれあいの場、とんど祭

毎年、1月中旬に実施のとんど祭。昔は宗教行事でしたが、今では新しい住民の要望で、自治会行事として、新旧住民、高齢者や子どもたちのふれあいの場になりました。子どもたちも大喜び。防災活動も兼ねるなんてグッドアイデアです。

滝ノ鼻防災会 会長 竹内 靖 TEL.090-5069-1732



わたしのうんどうかい

かわもと
1年 川本あおば



にじ色うみちゃん、いろいろな魚や
きれいなけしきを見に行こう!!

いけだ ひなは
2年 池田 陽葉



ひかるモチモチの木

やまおか りく
3年 山岡 稜空



顕微鏡を覗く僕

よしかわ かんた ろう
5年 吉川 感太郎



以心伝心

おざき はるた
4年 尾崎 晴大



ぼくの
お気に入りの場所

はしもと しょうきち
6年 橋本 祥吉

表紙撮影者 “ひとこと”

「安全・安心」のまちをめざし、
町民の願いを込めて天高く力強く放水する消防団員

- 撮影日：令和2年1月12日（日）
- 撮影場所：精華町立精北小学校
- 撮影者：広報委員

編集後記

新年を迎え、令和には「人々が美しく心寄せ合う中で文化が生まれ育つ」と「希望に満ちあふれた時代を国民と一緒に切り開く」といった願いが込められています。

また、子年は「何かが始まり未来に向けて育ち始める年」とあり、精華町議会も去年10月から議長が交代し、新しい議会体制となりました。住民の希望がふくらむ年になるよう議員一同願っております。

また、読みやすい「議会だより」を目指し、皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。